

市議会だより



発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2017年〈平成29年〉
2月1日第**45**号



平成 28 年

12月渋川市議会定例会

- 本会議のあらまし 2ページ
- 各常任委員会の審査 3~4ページ
- 第4回臨時会のあらまし（訴訟上の和解議案を否決） 4ページ
- 一般質問（13人の議員が市政を問う） 5~12ページ

平成28年

12月定例会

渋川市手話言語条例を制定!!

あらまし

平成28年12月定例会は、11月29日から12月12日までの14日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告が1件、市長から提出された議案が28件（市道の廃止・認定各1件、字区域の変更1件、財産の無償貸付1件、人権擁護委員候補者の推薦1件、指定管理者の指定1件、条例の改正11件、条例の制定3件、補正予算8件）、請願が1件ありました。報告と人事案件を除く一般議案と請願は所管の常任委員会へ、補正予算は予算常任委員会へそれぞれ付託され審査を行い、いずれも原案のとおり可決されました。

市長専決処分の報告

軽自動車が市道の陥没部を通過したことにより右側前輪がパンクした事案について、和解及び損害賠償の額の報告がありました。

財産の無償貸付

閉鎖した渋川市みかげデイスーパーセンター跡地の有効利用のため、土地と建物を「医療法人社団平形会」に無償で貸し付けるものです。この跡地が少子高齢化社会の諸課題に対応するための施設として有効に活用されることを期待し、全員一致で可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦

高橋良枝氏の辞任に伴い、後任として堀地直博氏が全員一致で推薦されました。



道の駅おのこ

公の施設の指定管理者の指定

渋川市農産物直売所の指定管理者として「一般社団法人道の駅おのこ」を指定するものです。全員一致で可決しました。期間は平成29年4月1日から平成34年3月31日までです。

渋川市手話言語条例

手話は言語であるという認識に基づき、本市における手話への理解と普及に関する基本事項を定めるものです。ろう者及び手話への理解を深め、全ての市民の人権が守られ地域で支え合い、お互いの個性と人格を尊重し合い、共生する社会を実現するための条例です。全員一致で可決しました。

渋川市子育て支援総合センター条例

渋川総合病院跡地に開設予定の渋川市子育て支援総合センターの設置及び管理に関し必要な事項を定めるための条例を制定するものです。このセンターは子育てに関する情報交換及び世

代間の交流により地域社会

全体の交流により地域社会全体で子育て支援を推進するため設置するものです。全員一致で可決しました。



改修中の子育て支援総合センター

渋川市スカイテルメ渋川条例の一部を改正する条例

入館料の市内高齢者の対象年齢を65歳以上に改正するものです。

渋川市赤城総合福祉セン

ター条例と渋川市赤城の湯

ふれあいの家条例の一部改正も同様に、入館料の市内高齢者の対象年齢を65歳以上に改正するものです。全員一致で可決しました。

補正予算

一般会計予算に2億9340万8000円を追加し総額336億4099万8000円とするものです。特別会計補正予算は7件提出され、それぞれ全員一致で可決しました。

請願・陳情

「渋川駅周辺市街地の住環境及び安心安全なまちづくりを求める請願」について、願意妥当と認め採択し、市長に送付し、結果の報告を求めました。

常任委員会の審査

本会議から付託された議案の審査の主な内容は次のとおりです

総務市民常任委員会

洪川市体育施設条例の一部を改正する条例

質疑 来年度から、(仮称)北橋運動場が利用開始になるが、平日は北橋中学校の部活動に優先利用させる考えは。

【答弁】 これまでの方針どおりで、そのように考えます。
質疑 利用時間が午前8時30分からとなっているが、早朝から利用したい競技団体もある。どのような見解



廃止される赤城多目的運動場

か。

【答弁】 これまで以上に柔軟に対応したいと思えますので、競技団体と調整します。
質疑 体育施設は限られた競技団体が中心に利用している。もつと市民に利用しやすくする考えは。

【答弁】 一市民一スポーツを目標としていますので、競技団体と協議して、体験会や初心者指導会などを行いたいと思います。

また、体育協会が中心となって設立を目指している、総合型スポーツクラブと連携していきたいと思えます。付託された8議案すべて全会一致で可決しました。

請願審査

「洪川駅周辺市街地の住環境及び安心安全なまちづくりを求める請願」は、願意妥当として全会一致で採択しました。

委員会協議会

財政の状況及び今後の見通しと取り組みについての報告がありました。

経済建設常任委員会

市道の廃止・認定について

林業専用道洪川上ノ原線整備による路線変更と、市営小川田土地改良事業による路線変更に伴い、市道の廃止と認定をするものです。全会一致で可決しました。

字区域の変更について

赤城西麓北上野土地改良事業の施行に伴い、地区内の土地の区画及び形状を改めた結果、字区域を変更するものです。全会一致で可決しました。

洪川市スカイテルメ洪川条例の一部を改正する条例

入館料の市内高齢者の対象年齢を70歳から65歳に引き下げるものです。全会一致で可決しました。

洪川市赤城の湯ふれあいの

家条例の一部を改正する条例

利用料金に高齢者料金及び障害者料金を加えるため

の改正です。全会一致で可決しました。



あかぎの湯ふれあいの家

洪川市簡易水道事業を洪川市水道事業に経営統合することに伴う関係条例の整理に関する条例

洪川市簡易水道事業を洪川市水道事業に経営統合するものです。全会一致で可決しました。

委員会協議会

「洪川市及び吉岡町連携道路の整備」について説明がありました。有馬企業団地へのアクセス道路として拡幅が望まれていた市道1-2046号線ほか1路線、吉岡町道庚申塚5号線の整備を連携して行うものです。「市営住宅金井団地跡地

利用」について説明がありました。住宅団地として公売するものです。

教育福祉常任委員会

財産の無償貸付についてと洪川市子育て支援センター条例・洪川市手話言語条例について審査全会一致で可決しました。

洪川市子育て支援総合センター条例は、洪川総合病院跡地利用として、子育てに関する情報交換及び世代間の交流を図り、地域社会全体で子育て支援を進めるための条例です。

委員から、審査を進めるに当たり、平面図等の資料提供を求めましたが、内容が不十分で審査できませんでした。子育て支援センター各室ごとの面積、駐車場の位置や台数、運営にかかわる規則等の資料を再度請求し、一旦、継続としました。翌日、再度の資料提出があり、審査しました。施設完成時期は3月中旬の予定で、4月開所時の職員は2名です。

渋川市手話言語条例は、

手話は言語であるという認識に基づき、本市における手話の理解と普及に関する基本事項を定めたものです。

委員から、ろうあ者も交えて検討したので立派な条例になったが、絵に書いた餅にならないようにするべきであるとの意見がありました。その中で手話通訳は確保できたのかとの質疑がありました。したが、当局から、正職員の手話通訳者を確保できたと答弁がありました。

予算常任委員会

一般会計補正予算及び国民健康保険特別会計ほか計8件の補正予算を全会一致で原案のとおり可決しました。主な質疑は次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑 渋川市民ゴルフ場財産取得事業に係る代物弁済の内容を。

答弁 貸付金の金銭消費対策契約と合わせて、債務履行として「代物弁済等予約に関する覚書」を締結して

おり、債務の代物弁済として、(株)渋川市民ゴルフ場の資産を譲渡するものです。

質疑 ゴルフ場地権者は何人か。また用地取得等、今後どのように対処するのか。

答弁 ゴルフ場開設当時の地権者は91人です。渋川市中村向島地区土地利用組合と土地貸借契約を締結します。土地寄付の要望を受け入れたいと考えます。

国民健康保険特別会計補正予算

質疑 高額医療費の実態は。医療費の最高額と病名は。

答弁 高額医療費は年々増加傾向にあり、昨年度は高額薬剤等の影響により大幅な増加となりました。また、医療費の最高額は約700万円、病名は敗血症です。

質疑 高額医療費の今後の見通しは。

答弁 今後も医療の高度化等により医療費の高額化が予想されます。本市としてはデータヘルズ計画に基づき保健事業に取り組み、健康寿命の増進を図ります。

第4回臨時会のあらまし 11月1日(火)

訴訟上の和解について

本件は、(仮称)北橋運動場造成工事に係る訴訟について、裁判所から和解の勧告があり、原告(株)藤井建設が市との協議に応じる姿勢を見せていることから、次の6つの条項により和解に応じようとするものです。

- ①市に対する2000万円の損害賠償請求の放棄
 - ②各訴えの取り下げ
 - ③指名停止期間の2日間短縮による名誉回復
 - ④(仮称)北橋運動場多目的運動場復旧工事で市が出捐した費用負担について、請求書を受領した日から1か月以内に当事者双方で協議を開始する
 - ⑤協議により解決に至らなかった場合、訴訟その他の解決方法を取ることを互いに妨げない
 - ⑥訴訟費用は各自の負担とする
- 採決は無記名投票で行われ、賛成少数で否決されました。

反対

この和解は欠陥工事をした原告の名誉回復を図ることが第1点にあり、復旧工事については、改めて話し合いを行い、話がつかなければ裁判を起こせるという内容である。

この和解は、一旦休戦状態にしようという形だけの何の意味もない和解であり、原告の指名停止期間を2日間短縮するところに相手方の名誉回復のメリットが生まれるだけなので反対。

討論

賛成

この裁判においては、復旧工事費用の負担を争点とするものではない。

本件の和解については、原告が市への損害賠償請求を放棄することや、修補の手法、費用負担についても応じる姿勢を見せていることなど、これまでの訴訟の中で市が主張してきた内容について、おおむね受け入れられたに等しく、総合的に判断した結果、和解に応じることが相応であるので賛成。

～13人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 6 平方 嗣世 議員

- 蘇活力について
 - 1 マイスターについて
 - 2 眠れる資源の把握は
- 人口減少対策について
 - 1 「防災・危機管理体制
 - 2 子育て支援・定住対策

P 7 星野 安久 議員

- 道路整備と維持管理体制
 - 1 道路の維持管理体制
 - 2 (仮称)北橋運動場アクセス道路の拡幅を
 - 3 吉岡バイパスの延伸計画
 - 4 大雪に備えた除雪体制

P 8 山崎 正男 議員

- 少子高齢化に対して渋川市の計画は

P 9 山崎 雄平 議員

- 白井城址について

P 10 丸山 正三 議員

- (仮称)北橋運動場整備工事について

P 11 南雲 鋭一 議員

- 来年度予算事業に向けて

P 12 安力川 信之 議員

- まち・ひと・しごと創生と渋川市の戦略
 - 1 まち：渋川駅周辺のにぎわい創出
 - 2 ひと：価値を創る教育
 - 3 しごと：創業支援

P 6 須田 勝 議員

- やすらぎとふれあい(生活編)
 - 1 私道の市道認定について
 - 2 高齢者の居場所づくりについて

P 7 細谷 浩 議員

- これからの渋川市について
 - 1 生活環境整備
 - 2 高齢者支援の充実

P 8 池田 祐輔 議員

- 災害時の対応と防災・減災対策
- 本市の企業誘致施策

P 9 山内 崇仁 議員

- 安心、安全なまちづくりについて
 - 1 災害時の情報収集と情報発信
 - 2 除雪対応
- 渋川市民ゴルフ場の今後について
 - 1 管理の方法
 - 2 跡地の利活用
- 教育の充実について
 - 1 ICT教育
 - 2 放課後の充実
 - 3 学校・家庭・地域の三者連携推進事業

P 10 田邊 寛治 議員

- 渋川市を取り巻く教育環境と現状について
- 国が目指すグローバル的英語化に対する市の考え方

P 11 加藤 幸子 議員

- 中学生の職場体験について
- 渋川市美術館について
- 高齢者の足確保について

一般質問の詳しい内容は会議録をご覧ください。
渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

渋川市議会
ホームページ

会議録検索
システム

一般質問



蘇活力・子育て支援

平方 嗣世 議員

質問 物故者である歴史的偉人や、文化芸術の一線で頑張っている名匠を「眠れる人材」と位置づけるのはいかがなものか。蘇活力から人材を外し、別の方面から支援するべきである。

市長 偉人については、もっと広く市民に知ってもらおうことで顕彰し、現役で活躍されている方は、地域づくりにご協力いただく仕組みを考えているところです。

質問 小野子住宅団地と木の間温泉は市がつくった「眠れる資源」。生き返らせるのか、市長の決断は。

市長 小野子住宅団地は造成費用等を考慮すると、分譲価格が市場価格を上回るため着手できません。温泉は復旧費に相当な費用が必要です。残念ですが、市内の他の温泉施設を是非使っていただきたい。

質問 学校給食費段階的完全無料化への取り組み、市内在住者を含めた住宅建築補助事業の見直し等、来年度予算にどう反映させるか。

教育部長 給食費の無料化は、財政面で大きな負担になるため、引



小野子住宅団地予定地

き続き財源調整の検討をします。

建設部長 市内在住者への住宅新築補助は、多額の財源が必要となるため、国や県の交付金等の活用も含めて検討していきます。

質問 市長・副市長同席で会議・宴席を共にしている。平時における危機管理が甘い。地方自治法第152条の適用のない危機管理はどうなっているのか。

副市長 会議や懇談会の内容を精査した上で、市長と副市長が同席する場合は、危機管理体制に支障のないよう体制を整えています。



やすらぎとふれあい（生活編）

須田 勝 議員

私道の市道認定について

質問 地権者が知らないうちに、了解なしで市道認定された私道の固定資産税の対応と修復工事は地権者の要望があれば対処するか。

総務部長 認定された私道は、利用状況や一定の条件を満たした場合には非課税として扱います。

建設部長 市道認定された道路の修復工事は、要望の有無にかかわらず必要に応じて行っています。

質問 市道認定した根拠は、道路延長を延ばす、長くすることで交付税の増額を意図したものでないのか。国に対しても違法では。

建設部長 市道認定は、公共性が認められる道路について議会の議決を経て行っており、交付税の増額を意図したものではありません。

質問 平成28年6月から開始した介護予防活動促進事業、活動運営費補助を頂いているが、行事保険の支払い等、苦しい運営実態です。サロン運営補助費増額の見直しを。

保健福祉部長 高齢者の居場所づく



閉校後の校舎の一部を高齡者サロンに

くりは、市民のご理解ご協力なくしては実施不可能です。社協のサロン助成（活動費及び保険料の助成）をあわせて活用してください。

質問 南雲地区の団体でもあり、平成29年3月末で閉校となる南雲小の一室を地域住民の居場所づくりとして、サロンの利活用として、借りることはできないものか。

教育部長 南雲小の利活用については、地区の自治会長から地元の見解を伺います。具体的な利用希望があれば、関係する部署と連携して検討したいと考えております。

一般質問

質問 吉岡バイパスを市内につなげることが街の活性化と人口減少対策になる。一日も早い延伸を願うが、見通しは。

建設部長 本路線は地域の基幹道路であることから、優先度や緊急度、熟度、関係地権者の同意状況などを総合的に判断し検討します。

質問 まもなく使用開始になる(仮称)北橋運動場へのアクセス道路が狭く、通行に支障が予想される。拡幅できないか。

建設部長 自治会要望に対する対応実施率は7割程度です。道路管理については、道路パトロールや市民からの通報により破損箇所を発見、確認し、事故防止のため早急に補修していきます。

質問 自治会からの道路整備の要望にどの程度応えられているか。また、管理の不十分さによる事故が後を絶たない。計画的な管理の考えは。



車のすり替えができない運動場へのアクセス道路

建設部長 除雪の委託業者が対応できる路線数には限りがあるので拡大は難しいですが、除雪路線の見直しを含め対応します。自治会には、積雪が概ね10cmを超えた場合に協力をお願いします。

建設部長 今後速やかに、吉岡町と十分な協議や調整を重ね、複数ルートの比較検討や都市計画道路の位置付けなどを検討します。

今年除雪対策

質問 除雪範囲を広げることにはできないか。自治会への除雪協力要請は、どうなっているか。



道路整備と維持管理体制

星野 安久 議員



どうする、これからの渋川

細谷 浩 議員

質問 人口増が期待できる南部地域に、子育て世代や高齢者が楽しめる遊具の充実と公園の整備は。

建設部長 新たに公園を設置する計画はありませんが、子育て世代

建設部長 この市道は吉岡町境であることから、これまでに事業化に向け、工事実施方法・費用負担・スケジュール等について、吉岡町と協議を行っております。

質問 高渋バイパスが開通すると有馬企業団地南側の市道への車の流入が増加すると考えるが、市道拡幅の計画は。

保健福祉部長 福祉のあしバスは、渋川社協が現在試験的に北部地区で運行しているものです。市としては南部地区でも運行してもらえよう渋川社協へ要望したい。



南部地域での運行が待たれる「福祉のあし」

保健福祉部長 動物愛護の面からも、大変重要な問題としてとらえていますので、今後も早期に実現できるように、調整、検討を進めていきます。

質問 飼育放棄されるペットを無くす取り組みとして、不妊手術の助成が県内4市9町2村で行われているが、本市の取り組みは。



少子高齢化に対する渋川市の対策は

山崎 正男 議員

高齢者対策について

質問 増え続ける高齢の要介護者の受入対象の特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の今後の増床計画は。

保健福祉部長 今後の計画は現在の収容水準を最低限維持しつつ、高齢者数の増加や介護保険料の上昇も十分に考慮して計画します。

健康寿命を延ばす施策を
質問 増え続ける高齢者に対し、減り続ける老人クラブの会員数、市当局はどう見ているか。友愛活動等に積極的に取り組むクラブへの支援金の増額と、活動に参加する会員の励みになるような施策を。

保健福祉部長 友愛活動として、日常生活支援などの実績に応じた支給を検討しています。また会員増加に向けた魅力ある事業を老人クラブ連合会と共に検討します。

増え続ける独居老人対策は
質問 独居老人同士の出会いの場所づくりの何らかの施策を

保健福祉部長 ひとり暮らし高齢者の保養事業は、慰安事業よりも



未来を担う子どもたち大切に

福祉事業に予算を配分すべきとの理由で廃止になりました。身近な高齢者サロンなどを充実させたい。子育て支援

質問 少子化の原因に子育てにかかる経済的負担がある。給食費完全無料化や親の金銭的負担を軽減するための施策を考えられないか。

教育部長 給食費完全無料化については、財源調整を図る中で進めていきたい。金銭的負担軽減については、家庭環境に応じた保育料軽減、きめ細かな指導の充実、奨学金無利子貸与等を行っています。



災害発生時への備えとして

池田 祐輔 議員

市役所本庁舎に耐震性が

質問 市役所本庁舎に耐震性が低いのは被災時に市民サービスの低下が懸念される。早急に耐震補強を行うべきではないか。

総務部長 本庁舎は、災害時に対応可能な司令塔としての役割を發揮し、行政機能を停滞させないためにも、耐震改修の検討を進めたかと考えています。

質問 災害時乳児用備蓄品目へ液体ミルクの追加を。また、国内での製造と流通開始まで、国際的な災害協定を海外の友好都市と締結し供給の対応が出来ないか。

総務部長 現在は粉ミルクの備蓄をしています。液体ミルクの購入・備蓄は関係諸法令の整備や国内生産が行われた際に検討します。なお、海外の都市と災害協定を締結する予定はありません。

質問 自主防災組織への支援方針と、活動が活発でない地域に対する支援方法の考え方は。

総務部長 防災講話の講師派遣や防災訓練の指導、防災資機材購入補助を引き続き行い、市内の先進



乳児の防災対策に液体ミルクを

的な取り組みを他地域へ紹介して、防災活動の底上げを図ります。
本市の強みを活かした企業誘致
質問 本市は地盤が強固であることとを客観的に示せるか。また企業誘致に活かす考えは。
商工観光部長 地盤の強さを表す指標として標準貫入試験のN値が用いられますが、有馬企業団地ではN値が地山で35・5あります。この値は大型の構造物の基盤として安全と言われています。今後具体的な情報を示し企業誘致にいかしていきたいと考えています。

一般質問



白井城址について

山崎 雄平 議員

質問 平成16年3月、旧子持村の史跡に指定され、市町村合併を経て市の指定史跡として引き継がれている。地域のみならず市の宝であり、関係する多くの事業を経て、今の形がある。地域がさらに発展していくと考えられる。史跡として指定された経緯を伺いたい。

教育部長 戦国時代から江戸時代初期に至る城の構造を良好に残し、興亡の歴史等学術的にも価値が高いことから、地域のかげがえのない財産として、将来の整備・活用に向けて適正な保護を続けるため、本丸を中心とした1万5683㎡を指定したものです。

質問 現在、整備が何もされていない感がある。白井宿や「道の駅こもち」と連携し、観光拠点にする方針はあるか。

教育部長 史跡範囲が広く大半が民地という状況ですが、白井宿や道の駅と一体的な活用が図れるよう、今後も研究を続けます。

質問 市長は施政方針で市のシンボルとして「復元していく考え」



白井城址

を掲げ「早い時期に一定の方向を出す」としていたが、あれから年月がたつた。今の考えを聞きたい。

市長 白井城の価値や重要性を高めるため、史実に基づいた復元整備を目指して、史跡の保存を図りながら、調査・研究を積み重ねていきたいと考えます。

質問 訪れる人がいるのに、案内板は色あせ、トイレは仮設のまま。このままにしないでほしい。

教育部長 定期的な巡回により、案内板の清掃・修繕を行います。トイレは対応を検討します。



安心、安全なまちづくりについて

山内 崇仁 議員

質問 いつ、どこで、どんな災害が発生するかわからない。災害発生時の情報収集をどうするのか。また、市民への情報の周知方法は。

総務部長 群馬県、気象庁、警察署、消防署、自治会等広く情報を収集し、防災行政無線のほかホームページ、ツイッター、フェイスブックを活用して周知します。

質問 通学路の除雪について、安全対策のために今年度はどのような対策をとるのか。

建設部長 細かな道路の除雪までは難しいので、自助共助の取組とともに、広報紙等でも除雪作業へのご理解ご協力をお願いをします。

質問 11月30日で閉鎖された渋川市民ゴルフ場をその他公園として利用開始するまでの安全対策は。

総務部長 入り口の進入防止対策、利用上の注意点を周知する案内看板の設置や、水路や池などの安全対策を検討しています。

質問 暫定的利活用の多目的芝生広場や軽スポーツ広場の具体的な



子どもたちの安全確保のため通学路の早急な除雪を

一般質問



(仮称)北橘運動場整備工事について

丸山 正三 議員

質問 不適切な土砂で盛土して問題ないと決定し指示したのは誰か。

建設部長 技術的な検討を踏まえ、市として方針を決定したものです。

質問 土砂不法搬出の調査結果は。

建設部長 受注業者から書面で土砂売却の事実はないと回答を得ています。追跡調査は受注者と公判中のため行っていません。

質問 工事写真と出来形管理表が合致していたが、検測数値等に誤りはなかったか。

総務部長 竣工検査の段階では誤記等は確認されませんでした。

質問 今でも検査基準を満たしていると考えているか。

建設部長 現状では、検査基準を満たしているとは考えていません。

質問 下請、孫請業者が工事を行い、元請業者が表彰対象になる事について。

総務部長 元請業者を検証すること、工事に携わった下請業者もあわせて評価していると考えます。

質問 受注者は工事用地について、十分な管理ができていたか。

十分な管理ができていたか。



六価クロムを含んだソイルセメント

建設部長 基本的には、受注者が責任を持って、より良い工事を施工し、発注者に引き渡すという責務があると認識しております。

農産物被害の損害賠償について

質問 現在の状況は。

副市長 係争中です。12月9日に進行協議が行われる予定です。

質問 三者協議はあったのか。業者にはどのような指導をしたのか。

市長 適切に対応するよう指示しましたが、訴訟の経過を見たい。

副市長 三者協議を提案しましたが、協議には至りませんでした。



渋川市を取り巻く教育環境と英語強化

田邊 寛治 議員

質問 当市を取り巻く教育環境は。

市長 子どもは地域の宝であり、本市の将来を担う無限の可能性を秘めた子どもたちを育てる教育環境は重要であると考えています。

質問 学校再編統合の諸問題は。

教育部長 学校統合は地域の文化、伝統、コミュニティに影響があるので、地域と培った伝統が受入校に引き継がれるよう調整します。

質問 武道教科の現状と課題は。

教育部長 中学校での武道の必修化を受け、武道場整備を推進しています。本市では、柔道の選択が8校、剣道の選択が1校です。

質問 少子化、貧困による現状は。

教育部長 奨学金制度の充実を図るとともに、貧困を原因とする教育格差をつくらないように、日々の授業の充実に努めていきます。

質問 多忙教職員の負担軽減対策。

教育部長 校務のICT化やきめ細かな指導充実非常勤講師を配置し、多忙の解消を図り、子どもと向き合う時間を確保しています。

質問 英語教育充実事業の内容は。

英語教育充実事業の内容は。

英語教育充実事業の内容は。



外国語活動（授業風景）

教育部長 外国人指導助手を配置し、小中学校での英語や外国語活動の充実を図っています。さらに幼稚園にも派遣しています。

質問 小学校英語教育と母語考は。

教育長 母語による学習が確立して初めて、外国語によるコミュニケーション活動等が意味あるものになると考えます。

質問 渋川市ができる英語強化考。

教育長 主体的・協働的に課題を解決する力をもつ人間の育成を目指し、外国語によるコミュニケーション活動の充実を図ります。

一般質問



来年度予定事業へ向けて

南雲 鋭一 議員

質問 東部学校給食共同調理場建設は、以前の一般質問で総合計画の中で対処する旨の答弁があり、平成29年度に予算措置することが確認できた。合併特例債を使用する場合、工期が間に合うのか。

教育部長 合併特例債の活用期限内に完成出来るよう、平成29年度に実施設計を行いたい。

質問 今年度スタートした給食費の段階的無料化の見通しは。

教育部長 毎年多額の財源が必要であるため、財源を確保し無料化を進めていきたい。

質問 校庭の排水が悪いため運動会を延期する場合がある。降雨の心配のない時期に変更する考えは。

教育部長 子どもたちの成長を重視し、安全を第一に考え実施時期について慎重に判断するよう、研究をしていきたいと考えます。

質問 小中学校の洋式トイレの導入状況と今後の計画は。

教育部長 洋式トイレの率は40・97%です。天井等落下防止対策や空調機器整備が完了後、計画的に



学校のトイレの洋式化を

洋式化を進めたいと考えています。

遊休農地発生防止対策は

質問 多面的機能支払交付金事業を推進している地域は、遊休農地発生防止に取り組んでいるが、渋川市では数地域に限られている。市はどのような事業計画を立てて、遊休農地発生防止対策を図るのか。

農政部長 本交付金事業のさらなる推進による地域活動や農地利用調整による耕作の継続、農業生産基盤整備による生産条件の改善等によって、遊休農地の発生防止を図っていききたいと考えています。



中学生の自衛隊での職場体験はやめるべき

加藤 幸子 議員

質問 自衛隊の第一義的任務は災害救助ではなく専守防衛です。戦闘は相手より先に銃の引き金を引かなければ自分が死ぬことになる。自衛隊の職場体験は一般事業所の体験とは異なるもの。中学生の自衛隊での職場体験はやめるべき。

教育長 職場体験学習においては、どこでするかではなく、その体験を通して何を学ぶかが重要です。こうした意義を踏まえ、キャリア教育の一環として、職場体験学習の充実を図りたいと考えます。

質問 松本市では「職場体験の手引」で軍事を想定させるものは外すことにしています。本市でも松本市と同様に教育委員会と学校で職場体験の手引を作るべき。

教育部長 職場体験学習を通して、生徒一人一人が自己の将来像や望ましい勤労観や職業観をもつことができるように、キャリア教育の全体計画等を充実していきます。

質問 市美術館は「街角美術館」として17年目。群馬銀行の空きスペースに地元作家の作品を展示でき

きるようにするべきと思うが。

教育部長 施設の継続使用について群馬銀行と協議中ですが、決定すれば、展示スペース等に改修し有効利用できるよう検討します。

質問 高齢者の足確保のために、前橋市で行い好評なマイタク（デマンドタクシー）ドア・ツー・ドアを行うべきと思うが考えは。

市民部長 タクシーは、利用者の自己負担が大きいことや、委託路線バス離れなどの問題もあります。高齢者の足の確保のひとつとして検討しています。



地元作家の展示を

一般質問



仕事が多くなる街づくりに

安力川 信之 議員

渋川駅周辺のにぎわい創出を

質問 空き店舗対策が進んでいる。

さらににぎわいあふれる街づくりのための政策として、駅前ロータリーの再整備や東西連絡橋に自動改札を設置し東口化する考えは。

建設部長 駅前ロータリーの多目的広場を兼用した駐車場の整備等の要望をいただいておりますが、駐車場については、市営第2駐車場、第3駐車場を整備しましたので、その利用状況により検討したいと考えます。

企画部長 JR東日本高崎支社から、東口自動改札の請願設置については、連絡橋からの階段設置や駅務室改修工事費等が市の負担で多額となり、駅員の増員も必要となるため難しいとの説明があり、設置は困難と考えます。

渋川ブランドの教育を

質問 渋川市の教育の理念は。小学校低学年に基礎学力の徹底した習得の考えは。

教育長 児童生徒の居場所づくりや、確かな学力、豊かな心、健や



設置が望まれる渋川駅東口ロータリー

かな体の調和のとれた育成を重視

します。小学校低学年では基礎学力や生活習慣の育成を重視します。地元金融機関と連携した起業支援の取り組みを

質問 北群馬信用金庫や群馬銀行と包括協定を結んだ。渋川市で仕事が多くなる街づくりに、様々な支援の取り組みについての考えは。

商工観光部長 包括連携協定を結んだ金融機関と情報の共有を進めながら、具体的施策について、今後検討を進めていきたいと考えています。

請願・陳情

採択

○渋川駅周辺市街地の住環境及び安心安全なまちづくりを求める

請願

〈要旨〉

近年、渋川駅前においては夜間営業の飲食店が目立つようになり、深夜の騒音や利用客の立ち小使、においの問題等、環境の悪化が進んでいる。該当する飲食店に対策を講じるよう申し入れているが効果が無い。店舗併用住宅のため、住環境の悪化は大きな問題である。市に対し、次のとおり適正に履行されるよう請願する。

- 1 群馬県の生活環境を保全する条例第74条の指定地域内で飲食店営業等を営む者の飲食店営業等騒音規制基準の遵守義務の適正履行
- 2 深夜営業の飲食店への環境美化等の指導・助言など対策を講じること

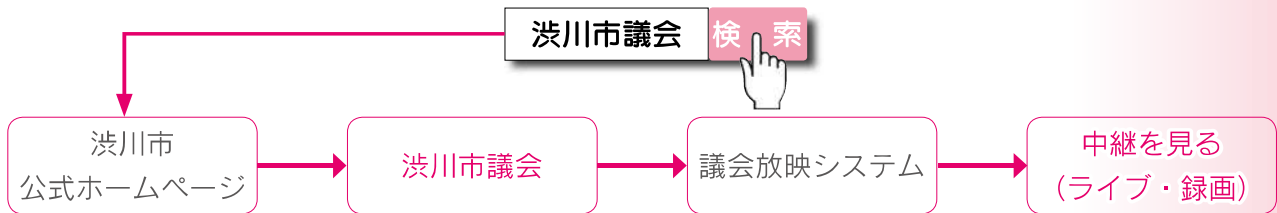
(請願者 渋川駅前通り商店街

振興組合

理事長 入沢 秀樹)

渋川市議会インターネット中継しています。渋川市ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/>



※PDCA

事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つ。「Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）」の頭文字をとったもの。

行政視察報告

総務市民常任委員会

日時 10月12日～14日
場所 北海道函館市

青森県青森市

選挙事務の学生アルバイトの雇用について・20歳代の投票立会人の選任について
(函館市)

どの自治体も投票率向上に取り組む中、平成28年から投票権が18歳からとなりましたが、**函館市**では大学生を臨時職員として雇い、選挙事務を体験させ、市内の大学に期日前投票所を設置するなど、若者の意識を高める取り組みを行い、投票率の向上を図っていました。こういった地道な取り組みは参考になりました。**まちづくり構想推進事業について（青森市）**
地域と市の協働によるまちづくりを推進するため、**青森市**では人的支援として地域のまちづくり活動を市職員がサポートし、財政的

支援として地域計画の策定費用を補助していました。地域の課題にきめ細かく対応できているようでした。



総務市民常任委員会(青森市)

議会運営委員会

日時 11月16日～18日
場所 北海道芽室町
北海道根室市

議会改革運営について先進地を視察調査しました。**芽室町の議会改革**

人口2万人、議会改革の先を行く**芽室町**が取り組んでいるのは、政治倫理条例の制定から始まり、**通年議会**、見える化、PDCA、活性化計画、情報公開、住民参加による意見交換会、議員間討議等の導入でした。一番感じたのは、議員の

やる気と議会事務局の能力が不可欠であるということでした。

根室市の議会改革

本土最東端のまち、**根室市**の課題は人口減対策と北方領土返還が最重要テーマのようです。

議会改革の特徴は、議員定数の削減、議会基本条例の制定、公聴会の開催、反問権の導入、政策の立案提言等であり、どの市町村も同じ内容のように見受けられます。

議会改革を進める上での課題として、公聴を目的とした市民との意見交換会の実施等の議会改革を実施しても、それに対する行政当局側の反映度が薄いことが浮き彫りに感じられました。

議会報編集委員会

日時 11月7日～8日
場所 福島県会津若松市

議会改革の先進地であり、人口12万3000人の歴史ある**会津若松市**の市議会広報広聴委員会を視察しました。

視察内容は、経過、委員会構成、発行回数と部数、紙面のレイアウト、編集方法や作業日程、予算、課題に対する取り組み等について説明を受け、有意義な意見交換ができました。

「あいづわかまつ広報議会」は22ページから構成され、内容は大変充実していました。特筆すべきは市民意見交換会の内容や議案の賛否、市民の評価が詳しく



議会報編集委員会(会津若松市)

掲載され、市民意見交換会の資料としても活用されるなど、議会改革の中心的役割をなしていたことです。

平成29年3月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	3/1	2	3	4
		本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	常任委員会 (総務市民・経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
5	6	7	8	9	10	11
	常任委員会 (予算)	本会議 (表決・予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	一般質問	
12	13	14	15	16	17	18
		一般質問	一般質問	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	
19	20	21	22	23	24	25
		常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)		本会議 (表決・閉会)	
26	27	28	29	30	31	4/1

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

平成28年12月定例会の審議結果

条例の制定.....原案可決

- 渋川市子育て支援総合センター条例
- 渋川市手話言語条例
- 渋川市簡易水道事業を渋川市水道事業に経営統合することに伴う関係条例の整理に関する条例

条例の改正.....原案可決

- 渋川市議会議員及び渋川市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例及び渋川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市税条例の一部を改正する条例
- 渋川市小野上住民センター条例の一部を改正する条例
- 渋川市体育施設条例の一部を改正する条例
- 渋川市赤城総合福祉センター条例の一部を改正する条例
- 渋川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 渋川市スカイテルメ渋川条例の一部を改正する条例

- 渋川市赤城の湯ふれあいの家条例の一部を改正する条例

平成28年度補正予算.....原案可決

- 渋川市一般会計補正予算（第4号）
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算（第1号）
- 渋川市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市水道事業会計補正予算（第1号）

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

人事.....同意

- 人権擁護委員候補者の推薦について

その他.....原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 字区域の変更について
- 財産の無償貸付について
- 公の施設の指定管理者の指定について

請願・陳情.....採 択

- 渋川駅周辺市街地の住環境及び安心安全なまちづくりを求める請願

発行◆渋川市議会
編集◆議会報編集委員会

表紙の写真

廃校になる刀川小学校での最後の書き初め。児童が一生懸命取り組んでいました。

議会往来

- 11月
 - ▽9日 埼玉県伊奈町議会が視察来庁（子ども夢基金について）
 - ▽10日 青森県つがる市議会が視察来庁（恋活プロジェクト支援事業について）

第4回臨時会の審議結果 (11月1日開催)

- その他.....否 決
○ 訴訟上の和解について

編集後記

新年を迎え、心新たに市民のための行政を行うべく、渋川市議会一丸となり頑張つてまいります。さて、暦上は丁酉一白水星の年で、意志は強いが迷い、悩み、困難を示すと言われ、政治観は抵抗勢力による利己主義の戦い。さらに議員は選挙のためや、出世のためだけの提言や政策をするなど維新性に富んでいます。私たちも渋川市発展のために様々な案件を追及し、市政へ力を注いでまいります。

特に若者たちが希望を持ち、志をもって夢を描き、成長できる渋川市を、市民の皆様とともに築き、創造していくことを望んでやみません。

切るのが如く、磋するが如く、琢するが如く、磨するが如く、常に身を慎んで麗しき威儀を備え、時代の変化を意識しながら、改造し成長する年です。

(編集委員 今成信司)